



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

新しい年に、自分の目標を決めてスタートしよう！

みなさまにおかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。学校におきましても、輝かしい新年の幕開けにあたり、教職員一丸となって、子どもたちにとって充実した1年になるよう、保護者のみなさま、地域のみなさまとともに、努力を重ねていきたいと考えています。今年もよろしくお願ひいたします。



さあ、3学期が始まりました。3学期は最も短く、寒い日も続きますが、1年間の総仕上げにあたる重要なまとめの学期です。特に、6年生にとっては、卒業や中学校への進学に向かって、6年間の締めくくりをする大切な時期です。最高学年としての自覚と誇りを持って、後輩たちによいお手本を示し、実り多き思い出深い3学期にしてほしいと願っています。

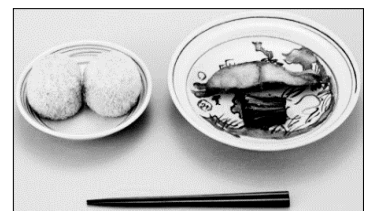
学校教育に関するアンケートへのご協力ありがとうございました

11月に2・4年生の保護者を対象に『学校教育に関するアンケート』をお願いしましたところ、たくさんのご意見をいただきました。本当にありがとうございました。このアンケートをしっかりと受けとめて、より充実した学校教育をおこなっていきます。アンケート結果につきまして裏面に集計結果一覧表を掲載しています。自由記述欄には、洋式トイレ増設やスロープ設置をはじめ、学校施設に対する要望が複数あり、また、地域学習や体験活動の充実など教育内容に関わる記述もありました。いただいたご意見に対して、学校ができることは前向きに検討し、すぐに改善できるものは対処していきたいと考えています。今後とも学校教育に対して忌憚のないご意見をよろしくお願ひします。

☆アンケート結果を踏まえ、改善に努めること①学校施設・学習環境…危険箇所については常に即時改修に努め、経年劣化がめだつ箇所や雨漏り、洋式トイレ等については、今後とも教育委員会に改修、設置の要望をしていきます。②教育内容…評価の高い算数少人数指導や放課後わくわく教室を継続します。ゲストティーチャーや世代間交流など地域の教育力も考慮に入れるとともに、地域を学ぶ取り組みや体験的な活動を充実させます。③情報発信…学校ブログを楽しみにしているとの声に応えるべく、こまめにブログを更新します。学校便り等を通じて、学校の取組みを発信していきます。

1月24日から30日は「全国学校給食週間」～給食について考える週間～

学校給食は、明治22年(1889年)に山形県鶴岡市で、お弁当を持ってこれない子どもたちに「おにぎり・焼き魚・漬物」を出したのが、始まりとされています。泉南市では昭和50年(1975年)から、市内すべての小学校において、「牛乳+主食(パン)+おかず」の完全給食が実施されました。その後、昭和55年(1980年)から米飯給食が始まりました。現在は、週3回の米飯給食が実施されています。中学校でも、デリバリー方式による給食が実施されています。(年間を通して給食残食率の低い本校に、昨年11月、読売新聞社が取材に来て、後日、新聞に掲載されました)



当時の給食(イメージ)

1月行事予定

一丘小学校

日	曜	1限前活動	学 校 行 事	PTA 活動・対外行事等
1	水	冬 休 み		
2	木			
3	金			
4	土			
5	日			
6	月			
7	火			
8	水		始業式	子ども安全の日
9	木			
10	金		持久走前検診(1~4年)	
11	土			
12	日			
13	月	成 人 の 日		
14	火	読書タイム	持久走前検診(5・6年)	
15	水	体育集会	委員会活動(5・6年)	
16	木			
17	金			
18	土			
19	日			
20	月			
21	火	児童集会	持久走コース試走(集団走)	市 PTA 人権研修
22	水	読書タイム	クラブ活動(4~6年) 6年租税教室	
23	木			
24	金			
25	土			一丘中入学説明会
26	日			
27	月			
28	火	体育集会	学習参観	
29	水	読書タイム	ひまわり研究授業	
30	木			
31	金			泉支研学習発表会

2/5(水)持久走大会〈雨天順延〉

読売新聞社の記者が本校の給食の様子を取材に来ました。後日、読売新聞に掲載されました。

学校対抗 完食グランプリ

泉南市教育委員会が11月下旬、公立小中学校で学校給食の食べ残しを減らそうと、「完食グランプリ」を開催した。食べ残しの割合を示す「残食率」を各校で出し、低く抑えた学校や学年を表彰する取り組みだ。今年1月に続く2回目の実施で、特に小学校では残食率が大きく下がるなど、成果が出たという。

(坂木二郎)

泉南公立小中給食で実施



完食グランプリの期間中、楽しそうに給食を頬張る児童たち(泉南市で)

「残食をどうしたら減らせるのか考えた末、このイベントを思いつきました。完食グランプリの考案者の一人で、泉南市立鳴滝小の栄養教諭、泉知香子さんはそう話す。

「プロッコリーにはごまドレッシングをあえ、ヒジキは梅干しとゴマと混ぜてふりかけにし、豆はシチューに」。泉さんら小学校の栄養教諭は、苦手な食材でも児童に楽しんで食べてもらおうと工夫を重ねて給食メニューを考える。それでも、食べ残しが目立つことがあり、普段の残食率は小学校10校の平均で5%前後という。

「異変」が起きたのは昨年の夏だった。猛暑続きで食欲が落ちたのか、小学校の残食率が7・4%まで上昇。危機感を強めた泉さんの提案で、小食の児童は量を少なくするなど配慮し

話し合いや校内放送 取り組み、食べ残し減に効果

たうえで、グランプリを実施することになった。今年1月に小学校で5日間、中学校で4日間、初開催したところ、期間中の残食率は小学校で1・1%まで急減した。期間終了後も比較的、低い状況が続いたため、この傾向を定着させようと、今年度はインフルエンザ流行前の11月20日から5日間、小中学校で実施した。

2回目だったこともあり、各校は様々な取り組みを実施。一丘小では上級生と下級生が「好き嫌いはなくそう」と話し合い、一緒に給食を食べた。給食委員が各学級を回り、互いに完食を誓い合う学校もあった。結果は2・6%と、1回目には及ばなかったが、普段の半分程度の残食率を達成した。特に優勝した東小では0・05%を記録。同小では児童が給食時間に校内放送で「頑張ろう」と呼びかけたという。江川裕好教頭は「全校児童が79人と小規模なので、一丸となって取り組めた」と喜んだ。

普段の残食率が22%程度の中学校4校でも、1回目は20・3%、2回目は18・8%まで下がった。ただ、元々、残食率が高いため、市教委学校給食センターの辻康治所長は「まだ十分とは言えない」と指摘。「今後も残食を減らす取り組みを続ける。特に中学での取り組みに知恵を絞りたい」と話した。

文部科学省の昨年度の調査では、全国の小中学校、特別支援学校などの95・2%が主食とおかず、牛乳の「完全給食」を実施した。

一方、府教委などによると、学校給食は校内の調理室でつくった温かい食事を提供する「自校方式」と、近くの給食センターで一括調理して届ける「センター方式」、仕出し弁当による「デリバリー方式」に大別される。食べ残しは自校方式が少ないが、予算や調理スペースの制約があり整備は難しい。

デリバリー方式を巡っては2014年、大阪市の公立中学で7割の生徒が食べ残していることが問題となり、その後、自校方式などに移行した。泉南市でも小学校はセンター方式だが、中学校はデリバリー方式を採用している。

「自校方式」予算などに制約

令和元年度 学校教育アンケート集計結果

(単位:%)

【保護者アンケート】(2・4年生)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	あまり思わない	思わない
学校へ行くのを楽しみにしている	37	46	15	2
学級が楽しいと言っている	48	44	8	0
学校行事は楽しいと言っている	70	24	6	0
授業が楽しくわかりやすいと言っている	36	49	14	1
先生は子どものことをよく理解してくれている	45	44	9	2
子どものことを気軽に相談できる先生がいる	23	54	19	4
間違った行動にはきちんと指導してくれている	48	47	4	1
きめ細かい対応をしてくれる	43	47	9	1
授業などを参観する機会は適切	52	45	3	0
学校は地域学習や体験活動に取り組んでいる	38	53	9	0
お便りや学校ブログで学校の様子がわかる	52	45	3	0
学校は災害マニュアルを知らせている	45	47	7	1
保護者への文書は適切	49	46	5	0
通知票の評価はわかりやすい	37	56	5	2
学校の施設・設備、学習環境は満足	29	52	19	0
【児童アンケート】(1・3・5年生)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	あまり思わない	思わない
学校が楽しい	40	40	14	6
休み時間に遊んだり話をしたりする友だちがいる	87	10	3	0
担任の先生に気軽に相談できる	45	36	14	5
担任以外に気軽に相談できる先生がいる	46	32	16	6
先生は、困っていることに対応してくれる	69	26	4	1
授業は楽しくわかりやすい	50	35	11	4
わからないことを質問しやすい	60	27	9	4
算数での少人数授業はわかりやすい	55	32	13	0
読書が好きだ	51	25	11	13
話し合いで自分の意見を発表することが多い	31	26	31	12
給食の時間は楽しい	80	16	3	1
クラブ活動は楽しい	59	21	16	4
学校行事は楽しい	71	15	9	5
児童集会、体育・音楽集会などは楽しい	40	30	22	8
学校の決まりを守っている。	45	42	11	2
災害時にどうしたらいいかを学んでいる	60	28	10	2
命の大切さを学んでいる	72	22	5	1